

◇いじめを受け、登校できない生徒

【Q】 中学校2年生の男子の保護者です。2年生に進級し、4月、5月は勉強や部活動に意欲的に取り組んでいたのですが、最近、朝なかなか起きてこなくなり、体調が悪いと言って学校を休むようになりました。

息子に聞いても何も話さないで、同級生の保護者に相談したところ、息子が、同じ学級の複数の男の子からいじめられていることが分かりました。息子から話を聞くこともできず、このまま学校に行けない状態が続いてしまうかと思うと、心配でたまりません。親としてどうすればよいのでしょうか。

【A】 毎日の学校生活の中で、中学生が悩みを抱える場面はたくさんあります。その悩みの原因がいじめである場合、本人からは相談しづらい傾向があり、深刻なケースになる場合があります。

お子さんが何かで悩んでいる時は、まずは、保護者の方がお子さんの思いを受け止め、その悩みがいじめであると思われる場合には、お子さんを守り抜く姿勢を見せることと、すぐに学校に相談していただくことが重要です。

そこで、次のような関わり方をしてみてもいいでしょう。

①お子さんの気持ちを受け止める姿勢で、「何か困っていることはない？」と問いかけてみてください。

いじめの場合、いじめを受けた子どもが、誰にも相談できずに悩んでいることがあります。問い詰めたり、結論を急いだりせず、「何か困っていることはない？」と優しく問いかけ、何があっても「守り抜く」「必ず助ける」という親の思いをお子さんに真剣に伝えてください。

②学校に相談しましょう。

いじめかどうか判断に迷われる場合であっても、学校に相談してください。お子さんの様子を、学校と家庭で情報共有することで、よりの確にお子さんの状態を把握することができます。その上で、適切な対応を学校と相談して進めてください。

各学校では、いじめの訴えがあった場合、または、いじめが疑われる場合、速やかに事実確認を行い、いじめ問題の対応をまとめた「学校いじめ防止基本方針」に基づき、解消に向け取組をいたします。

なお、川越市では、「いじめ防止対策推進法」及び「川越市いじめの防止等のための基本的な方針」に示された基本理念「いじめは絶対に許されない行為である」に基づいて、いじめの根絶を目指しております。

1日も早くお子さんの笑顔を取り戻すためにも、早めのご相談をお勧めいたします。